



2020年度 10月号

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

すっかり涼しくなり、季節が秋に移り変わりましたね。9月初旬は暑い日が続いたので、水遊びをしたりシャワーを浴びたり、濡れタオルで汗を拭いてすっきり涼んだりしながら快適に過ごせるようにしました。9月後半になり気温が下がり戸外で遊ぶ機会も増えましたが、子ども達は常に走り回っているの顔は真っ赤、汗びっしょりになっていて、ぞう組はまだ夏継続中のようです。



○運動会あそび○

今年は残念ながら運動会での姿を見ていただくことはできませんでしたが、大好きなお父さんやお母さん等ご家族の方に見てもらおう！とビデオを回すと大張り切りなぞう組。バンブー、リレー、仮装ごっこ、組立体操&ソーラン節をみんなで楽しみました。バンブーは床に貼った線でゆっくりから始めましたが、いざバンブーを使ってみるとうまくいかず焦ってしまう子ども達。でも徐々にピアノのリズムに合わせて歌いながらリズム良く動けるようになっていました。リレーは回数を重ねる毎にみんな競争心が強くなり、「勝つぞ！」と闘志をメラメラと燃やし、いざ勝負！みんな力を出し切って走ったので、全員で園庭中をウイニングランしました。仮装ごっこは引いたカードに書いてある衣装に着替えました。各々「忍者を引きたい！」「お医者さんになりたいな」と言いながらも引いてみないと何が出てくるかわからないカード。衣装を着ると何だか恥ずかしそうでしたが、なりきって園内を練り歩いて楽しみました。ソーラン節は「どっこいしょどっこいしょ！」「ソーランソーラン！」と大きな掛け声が保育室、園庭中に響き渡っていました。目線は自分の手、腰を低く等、細かい動きまで気にしながら踊りました。ハチマキ&タスキを身につけると顔つきまで変わる程気合いは十分！きりん組、うさぎ組のお友だちや先生たちにも「ぞう組さん格好良かった！」と言ってもらい、とても喜んでいました。組立体操も少しか取り入れましたが、友だちと力を合わせて綺麗な扇、花を作り上げました。友だちと一緒に楽しむ経験が自信、成長に繋がってくれたらいいなと思います。ビデオお楽しみに！！



☆みんなで話し合いました☆

最近のぞう組は強い口調で話したり、自分の意見を主張してばかりで相手の話に耳を傾けなかったりと、4月にみんなで決めた「格好良くて優しいぞう組になる」という目標から離れて来ているなど感じていたので、クラスで「優しさ」「思いやり」とはどういうことなのかをゆっくり話し合いました。自分の胸に手を当てて一緒に考えてみると、「こんな気持ちになって嫌だった」「こんなこと言っちゃったんだ」と実際の体験から様々な気持ちを思い出し、どうしたらいいのか意見を言う姿が印象的でした。まだ小さな5歳、6歳ですが、ちゃんと自分の意見も思いも言葉にすることができるようになってきています。今後も子どもたちとじっくり向き合い話し合う時間を大事にしていきたいと思っています。

カプラ流行中！

友だちと数人で協力してカプラという木製のおもちゃを積み上げる遊びがぞう組で流行っています。初めは四角形に積み上げていましたが、三角形にしたり、カプラの向きを途中から変えてみたり、倒れる場所を計算して箱を置く姿まで見られるようになりました。子ども達の遊びを発展させていく姿には驚かされます。高く積みあがってくると、周りで見ている友達も「すごい！」「どうなるんだろう？」と大盛り上がりです！

